

～書籍出版のご案内～

# 「利回りや株式相場に影響されない リスク回避の企業年金設計」

JPアクチュアリーコンサルティング（株）編

拝啓 ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、弊社編集の『利回りや株式相場に影響されないリスク回避の企業年金設計』という本が中央経済社より出版されました。企業年金を取巻く様々な状況・問題（年金会計の即時認識化や国際会計基準との連携の強化、不透明な運用環境等）にマッチした制度設計・運用・移行を分かりやすく解説しております。

どうすれば企業の負担とならず、労使一体となった持続性の高い制度を設計・運営していけるか、多くの事例も取り入れ、改正退職給付会計基準にも対応した1冊となっております。

— 以下の様な問題に —

- 自社の企業年金制度を変えたいが、どうするのがベストかわからない
- 会計基準の改正は、当社の制度にも影響するのか知らない
- 社員のモチベーションを損なわずに企業年金制度を変えたい
- 他社がどう移行しているか、事例が知りたい
- 確定拠出年金が導入されて10年あまりが経つが、このままでよいのか

など

ぜひ一度、お手に取ってご覧ください。



## 目次

- 第1章：退職金、企業年金を取り巻く環境の変化
- 第2章：退職給付会計が制度設計に与える影響
- 第3章：今後の退職給付制度の設計
- 第4章：キャッシュバランスプランの設計
- 第5章：確定拠出年金の制度設計
- 第6章：年金財政と退職給付会計の違い
- 第7章：企業年金、変更事例と今後

<出版社：中央経済社>

<定価：2,940円(税込)>

※本書は丸善・ブックセンター等の大手書店又はオンラインショップなどでお買い求めいただけます

## 執筆者紹介

**黒田 英樹**（代表取締役 年金数理人・日本アクチュアリー会正会員）

1985年 大和銀行に入社。年金信託部において一貫して適格年金・厚生年金基金の数理業務を担当し、数多くの年金制度設計や指定年金数理人業務を行う。2000年プライスウォーターハウス・コーパースに移籍し、年金コンサルティングを手掛けた後、JPアクチュアリーコンサルティングを設立。日本生産性本部コンサルティング部 退職金年金改革センター長

**斧田 浩二**（年金数理人・日本アクチュアリー会正会員）

1989年 安田信託銀行に入社。適格年金・厚生年金基金の数理業務、年金ALM業務を担当。IICパートナーズ、監査法人トーマツにて主に監査、退職給付制度の設計・退職給付債務評価、M&Aアドバイザー業務等に従事。2005年10月より現職。

**田村 薫**（コンサルタント）

2000年 ワトソンワイアットに入社。ベネフィットチームにおいて退職金・年金コンサルティング業務に従事する。その後コーンズアンドカンパニー、ウィリスジャパンにて、エンployeeベネフィットプラクティスの責任者としてクライアントの年金制度、リスクベネフィット、国際プーリング、Expats（駐在員）の戦略的ベネフィットなどのコンサルティングを担当。2008年8月より現職。